

## 2023\_0721「最後の給餌（動画）」日々の理科 3271号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

6羽の雛のうち5羽は、まるでパニックを起こしたように30秒以内に巣立ちを終えました。しかし、最後の1羽はそのパニックに全く関心を示さずに、そのまま巣箱に留まりました。この「末っ子」は、ほかの雛に比べて極端に成長が遅れていて、自分にはまだ巣立って飛翔する能力が足りないとわかっていたのでしょうか。シジュウカラの親鳥は、成長の遅れている雛に優先的に餌を与えるようなことはしません。先に育った雛は、より餌をもらえるチャンスも増え、遅れて育った雛はますます成長が遅れることもよくあるのです。

しかし、親鳥はその後に残った末っ子に餌を運び続け、糞の処理も続けていました。映像は、この末っ子が最後に親鳥に世話をしてもらった時のものです。この翌朝、大変な事件が起きました。

(2023年7月中旬／北軽井沢)

